

いとまん

市議会だより

第130号

令和5年
12月5日発行

= 令和5年第5回（9月）定例会 =

市議会議場見学と
議場ロールプレイングが
行われました



令和5年11月14日に高嶺中学校3年生が総合的な学習の時間において「まちづくりの提案をしよう」をテーマとした学習と、これから地方自治を学習していくということから、議会の見学とロールプレイングを行いました。

真剣な面持ちで学ぶ一方、時折笑い声も上がるなど充実した時間を過ごしていました。



令和5年第5回（9月）定例会

第5回定例会は、9月5日から9月27日までの23日間の日程で開催されました。

同定例会には、市長から人権擁護委員候補者の推薦に関する諮問 2 件、令和 4 年度一般会計歳入歳出決算などの認定 8 件、令和 5 年度一般会計補正予算（第 4 号）及び令和 5 年度一般会計補正予算（第 5 号）などの議案 32 件、報告 1 件の提出がありました。

また、議員提出議案として、意見書等6件の提出がありました。

議案等の処理結果については、12 ページに掲載しておりますので、御参照ください。

令和5年度一般会計補
正予算（第4号）

本案は歳入歳出予算の総額にそれぞれ7億6424万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ331億4850万円とするものです。主な事業は次のとおりです。

○轟壕歷史保存事業

828万円

○横断者注意喚起灯設置事業

440万円

○交通安全施設整備事業

(令和5年台風6号)

○私立保育所等食材料費負担 500万円

輕減事業

889万円

○認可外保育施設食材料費負担軽減事業

58万圓

○がん患者アピアランスケア
支援事業

47万円

○畜産農家経営継続支援事業

3195万円

○公園施設管理改修事業

8472万円

令和5年度一般会計補
正予算(第4号)に対
する修正案

令和5年度一般会計補正予算（第4号）について、議員8名から、高嶺小学校移転改築事業に係る不動産鑑定委託料104万円を減額する修正案が提出され、全会一致で可決されました。

否決

令和5年度一般会計補
正予算（第4号）に対
する修正案

令和5年度一般会計補正予算（第4号）について、議員2名から、新型コロナウイルス感染症対策事業のうち委託料を除く1654万円を減額する修正案が提出され、賛成少数で否決されました。

人権擁護委員候補者の
推薦について

本案は、人権擁護委員法第6条第1項の規定に基づき委嘱される、本市の人権擁護委員として「渡慶次英子」氏及び「馬場宏」氏を候補者として推薦するため、同条第3項

の規定により、議会の意見を求められたものです。

監査委員の選任について

本案は、現委員の「儀間常貞」氏の任期が本年9月30日をもって任期満了することに伴い、引き続き同氏を任命するため、地方自治法第196条第1項の規定により議会の同意を求められたものです。

財産の取得について

本案は、糸満市立小中学校電子黒板整備事業において、財産を取得するに当たり、その予定価格が2000万円以上となることから、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求められたものであります。



糸満市農業委員会委員の
任命について

本案は、農業委員会等に関する法律第8条第1項の規定に基づき、農業委員会の委員については市議会の同意を得て、市長の任命により選任されるため、「赤嶺道彦」氏、「大城真由美」氏、「大本秀子」氏、「金城義幸」氏、「久保田政子」氏、「久保田隆之」氏、「島袋輝雄」氏、「玉城正智」氏、「長嶺栄」氏、「百次成仁」氏、「山城弘美」氏、「山城学」氏の12名の委員について、議会の同意を求められたものです。

議員提出議案

不信任決議について

本案は、議員提出議案第8号及び議員提出議案第10号として、議長及び副議長の不信任決議がそれぞれ提出され賛成多数で可決されました。

意見書 第5回定例会では、
1件の意見書を可決
しました。

燃料油価格の高騰への対処を 求める意見書

あて先：衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、内閣官
房長官、経済産業大臣

本案は、地方自治法第23
3条第3項の規定に基づき、
監査委員の意見をつけて、議
会の認定に付されましたが賛
成少数で不認定となりました

令和4年度一般会計歳入歳出決算の認定について

不認定

○防犯・集会施設等災害復旧事業（令和5年台風6号）

本案は歳入歳出予算の総額にそれぞれ1251万円を追
加し、歳入歳出予算の総額を
それぞれ331億5997万
円とするものです。主な事業
は次のとおりです。

令和5年度一般会計補
正予算（第5号）

市政をたぐす

一般質問

令和5年第5回定例会では、9月14日、15日、19日、20日、21日の5日間にわたり、20人の議員が一般質問を展開しております。質問については、1人1項目を要約して紹介しております。詳しい内容につきましては、市議会事務局や市立中央図書館に備えてあります会議録を御覧ください。なお、会議録は市議会ホームページからも御覧頂けます。

教育行政について

現在計画中の高嶺小中一貫校敷地拡張案について伺う。

教育長 高嶺中学校グラウン

ド南側へ拡張を行う計画として策定中である。予定の敷地は基本計画策定幹事会及び策定委員会で複数案を作成、高嶺校区地域説明会参加者の御意見等を踏まえ、幹事会及び委員会で協議し敷地拡張案として定めている。ただし、資料でビニールハウス補償費の概算金額に修正があった。今後幹事会及び委員会に資料を訂正した上で報告し、評価の内容について改めて確認を行い、計画を推進したい。

金城
小学校は運動場に仮設

校舎を建設する。開校の令和10年までグラウンドは使えな



金城 敏 議員



くなる。中学校グラウンドに小学校校舎を建設するとその期間、中学校グラウンドも使えなくなる。簡単に想定できる。それをあえてやるのか。小中学生には体育の面、非常に不便をかける。敷地拡張したところに建設すれば避けられると思うがどうか。

教育部長 運動場が長期使え

なくなるといふ課題はあるが
危険改築の建物、小学校の課
題を解決することを優先に事
業がさらに遅れないよう教育
委員会として努力したい。

金城 住民説明会では拡張し

て進めるとし、土地取得の同意が得られずグラウンドエリア内で小学校建設。拡張はできなかったとなれば本当にお粗末な事だ。校舎は50年使用する。より最適な場所を確保し進めることを強く要望する。



小中学生に不便をかけない
計画推進が望まれる

横断者注意喚起灯設置
事業について



金城 悟 議員



横断者注意喚起灯とはどのようなものか伺う。

建設部長 信号機のない横断歩道に設置することで横断歩行者の存在をドライバーに知らせ、安全な横断を支援するための装置である。

金城 私が去る6月定例会で横断者注意喚起灯を提案したが、それに基づいて事業を着手したということか。

建設部長 議員からの提案と
同時期に地域の経済団体から
注意喚起灯の寄贈の申出も
あったことから、今回の補正
予算に計上し議決されたので
設置に向け取り組んでいきな
い。

金城 設置場所を伺う。
建設部長 外かく線沿いと、



設置が予定されている沖水前のT字路

沖水前白銀釣具店前のT字路を予定している。

金城 横断者注意喚起灯は道路管理、建設課が設置する箇所も選定できるため、今後も数を増やす考えはないか伺う。

建設部長 今後は設置に向けて交通量が多く危険と思われる信号機のない横断歩道に、

できれば年2か所程度、今後設置できるか関係部署と調整しながら計画していきたい。

金城 沖水前の白銀釣具店前のT字路を予定していると
 言っていたが、私も一緒に小
 学校に通う生徒の保護者が周
 辺の学校にも出向き、校長先
 生への協力願ひ、地域の自治
 会長、署名活動等、本当に4
 年間の熱意が実った。安心安
 全な取組に感謝する。随時設
 置に向けて取り組んでもらえ
 るようお願いする。

市内業者への優先発注
や地場産品の優先使用
について



金城 一文 議員



先日、市内の事業者から報

告があり、市の入札があり、参加したが落札することができなかつた。ずっと市内で営業して、雇用もして法人税も納めているのに市外業者に落札されていくのは納得いかない。確かに価格面での競争では勝てないかもしれないが、

アフターフォローや価格以外の面では決して負けていないのとこのことだった。那覇市や豊見城市の市役所が糸満市の事業者に優先的に発注してくれるわけではない。糸満市の事業所に優先発注、優先使用できるのは糸満市だけである。消費者向けに商品券を発行することはありがたいことだが、事業者にとって優先発



早急な基本方針の策定が求められる

注、優先使用してもらうことのほうが経済効果は大きいと思う。そこで何う。基本方針の策定についてはどのように考えているか。

市長 市内業者の優先発注や地場産品の優先使用に関し、基本方針の策定に向けて進めていく。

金城 商工行政について前向きな答弁をもらったが、いつから制度化されるのか。

経済部長 今年度中の策定を
目標に努めていく。

金城 これもなるべく早めに始めてほしいが、市内事業者は厳しい状況が相変わらず続いている。市内事業者のためにも一日も早く制度化とともに、市職員の皆様が常にそのことを心において業務に取り組んでほしい。

山城公民館について



玉城 哲郎 議員



山城公民館は冷房機器がなく、地域の方から設置してほしいと要望があった。自治会では経費の負担が重いので補助金を要望するがどうか。

市民健康部長 冷房機器設置等を含め備品購入等の各自治会からの要望は、地域活性化支援事業補助金の活用、または一般財団法人自治総合センターの一般コミュニケーション助成事業補助金を促している。

哲郎 山城公民館を利用される区民の方たちは、そこで介護予防のために体操をしたり地域住民、子供たちが集まったり遊んだり、大変憩いの場でもある。その中でクーラーがなく、早く設置してほしいと要望を聞いている。公民館



クーラー設置の要望がある山城公民館

等施設整備事業や一般コミュニティ助成事業について伺う。

市民健康部長 公民館等施設整備事業は公民館等施設の整備、修繕、備品購入が対象で補助額は総事業費の3分の2、上限額20万円で上回る分は自治会の負担となる。一般コミュニティ助成事業は総事業費に対し補助率が100%、補助額が100万円から250万円となり上限を上回る事業費は自治会負担となる。

哲郎 コミュニティ助成事業は当たるのが遅い、スピード感がないのかなと思う。他の自治会と同時に申請すればいいと思うが申請可能か。

市民健康部長 2つに分け、2自治会に対し補助を対応することはできると聞いている。

哲郎 ぜひ山城公民館にクーラー設置をしてほしい。

令和4年6月定例会の一般質問で伺った、賀数地域の県道82号線付近で大雨時に冠水してしまふところがあるが、現在の進捗状況について伺う。

経済部長 県道82号線に接続する農道で、既存の側溝等がなく大雨時に冠水する状況があり、去る台風6号の際も同様に冠水した経緯があった。当該現場からの末端排水を確認したところ、長い距離の工事が必要となり多額の費用がかかることが想定されるため補助事業での整備を検討しているが、現在具体的な補助メニューがなく苦慮しており、当面の間は定期的なパトロールを行い早期的な対応が図れるよう注視していきたい。

地域行政について



長嶺 安浩 議員

長嶺 この82号線付近の附属
している道路は市道か、それ
とも農道か伺う。

経済部長
賀数農道である。

長嶺 この道路は微妙に複雑な道路で、82号線があつて、



大雨時の対応が求められている道路

の道を通り過ぎたり、児童との接触はないが危ないなというところがある。道路が長く予算確保も四苦八苦していると思うが、地域住民、道路の利用者も困っているので、冠水時にはチェックしながら管理、スピード感を持つての対応、82号線の付近を見守ってくれるようお願いする。

市有財産について



金城 敦 議員

所有権移転登記が同時に嘱託することになっているが、登記がなされていないのはなぜか伺う。

総務部長 買戻し特約の登記
がなされていないことは、特
約の公序良俗に違反していな
いので、特に問題はない。

金城 譲受人の司法書士が登記を行った際に所有権移転の

みを登記してしまい、市としては司法書士にやり直しを指示したが、やり直さなかった。

相手側に用途の制限や買戻し特約に関する念書を提出させて対策を図ったということになっているが、その件に関して市長はこの問題を把握して決裁を行ったのか。

市長 全部把握した上での決

裁かという御質問だが、細かい条文の精査までは出来ない状況での決裁である。

金城 市長はこんな大事なことを把握しないで決裁をしているのか。

市長 多くの決裁がある中で今回の細かいチェックができなかったということは大変注意していかないとけない。各決裁権者のほうにも細心の注意を払って決裁をし、私のほうにも回して、私も今後細かくチェックしていく。

金城 譲受人の司法書士がやり直しの指示をしたがやり直さなかったということは、市有財産売買契約書の第14条2の虚偽の報告もしくは申告その他の不正な行為により契約違反にならないか。

総務部長 契約違反に該当しないと理解している。

[illegible]

決裁の細やかなチェックが求められる



前田 潤 議員



水産業と海洋汚染について

福島第一原発の処理水が8月24日に海洋放出された市長の見解を伺う。

市民健康部長 放出された近隣市町村の漁業関係者に
 つては風評被害が出てしま
 うと考えられ、海洋放出後
 もしっかりとモニタリング調
 査や風評被害が出ないように
 対策を講じてほしいと考
 えている。

前田 環境省の資料では、世界の原子力発電所からトリウムが放出されている。中国やロシアは蒸気にして空中に放出するべきと言っている。福島原発アルプス処理水には他の原発のトリウムと違って核種、放射能を出す物質が含まれ、トリウム以外の沸



海洋資源を次世代につなぐ考察を

点の高い核種は蒸発させずに残して固化処理しなさいということだと思う。トリチウムは自然界にも普通に存在する比較的半減期も短いから問題にならないとアルプス処理水は放出することが政府の方針で行われた。しかし、放出したことで中国が日本の海産物をほとんど輸入禁止にし、外交問題になった。放射能の水を薄めて基準以下にして海に流す、こんなことが許されるのであれば下水、水銀、カドミウムも海に流せる理屈になる。チツソという会社の水銀廃液が海に流され疑いが持たれても、それが原因だと認定されるまで50年という年月がかかり、多くの水銀中毒患者が苦しんだ。まずは漁業を守る、そして未来の子供たちを守るため福島処理水は放出停止すべきだと思う。



新垣 勇太 議員



公園の有効活用について

屋台基本条例について、今後制定する考えがないか伺う。

経済部長 福岡市が条例を制定し、屋台のにぎわいや人々の交流の場の創出、観光資源としての活用を踏まえ、営業の適正化、市や業者、利用者の責務を明らかにすることで安全で快適な公共空間及び良好な公衆衛生を確保し、屋台が地域住民や観光客に親しまれることを目的にしている。市も観光資源や人々の交流の場の創出は必要と考えているが、その手段として屋台が適切なのかどうか等も含め、調査検討していく。

新垣 市が持っているポテンシャル、眠っているものを収益化につなぐことが重要だ。



有効活用の提案がある西崎運動公園

西崎運動公園や、親水公園の中、サザンビーチに行く県道のそば等を活用して条例制定はできないか伺う。

建設部長 市の都市公園条例第3条第1項第1号において行商等の行為は、許可制だが可能だと判断している。

経済部長 糸満漁港北地区の臨港道路は県管理であり、交流の場としての利活用は県との調整が必要となり、今後、意見交換を行っていく。

新垣 今、西崎運動公園、親水公園はできる状況であるがPark-PFIでやるのか、市が事業主体でやるのか議論になる。市でお金を落としてもらえる仕組みを、市が持っているポテンシャルをどうやって生かすかも行政にかかってくるので、しっかり議論をして提案していきたい。



徳元 敏之 議員



教職員の働き方改革について

①小・中学校の教職員の勤務時間はどうなっているのか。
②高等学校・特別支援学校の教職員の勤務時間はどうなっているのか。
③いつからそのような勤務時間になっているのか伺う。

教育長 ①沖縄県教育委員会の所管する職員の勤務時間は1週間当たり38時間45分とし、勤務時間の割り振りは校長が定めている。小中学校教職員の勤務時間は原則として8時15分から16時45分である。

教育部長 ②高等学校・特別支援学校の教職員の勤務時間は原則8時30分から17時である。③詳細は把握できなかった。以前よりそのような勤務時間であると思われる。



教員の働き方改革への支援が望まれる

徳元 月80時間を超えて勤務している教職員が3割ほどいる。教職員の働き方改革で、一番の課題は先生方だけではできなくて、保護者、住民への周知だと思う。教育委員会として、どの程度協力できるか。

教育指導監 住民への周知は
ホームページ等を活用して周
知できるように積極的に努力し
ていく。

徳元 学校現場は大変苦勞しながらやっている。ぜひ教育委員会も支援をしてほしい。学校ボランティアではなく支援員とかの活用はできないか。**教育指導監** 業務内容が違い、支援員を活用しての登校支援は、厳しい状況である。

徳元 これからも教育委員会として支援していただきたい。

と7月31日に協定を締結した。台風6号の襲来がちょうど重なり、ケースを担当する相談支援専門員や市ホームページを通じて登録を呼びかけたところ、すぐに1件の相談・登録があり、実際に一時避難として利用された。今後とも充実に努める。



浦崎 暁 議員



医療的ケア児支援行政について

①台風等の災害時、医療的ケア児を受け入れる体制確保について。②医療的ケア児や家庭の避難訓練等について。

市長 ①受入れ体制確保については、医療的ケアを必要とする方を対象に、災害時の一時避難を目的とした福祉避難所の指定に医療法人以和貴会

緊急体制が必要。消防とは情報共有に努めている。避難マニュアルの作成は、まだできてないが、令和3年度に災害時準備物品チェックリストを作成し、必要な世帯に配布した。今後避難マニュアル作成についても取り組んでいく。

浦崎 避難所利用の課題は。**福祉部長** 特に苦情はなく、利用された世帯から安心して過ごすことができた。今後登録者の拡大等に努める。

浦崎 避難時、緊急時、災害時、消防が非常に活躍する。医療的ケア児も消防が対応する局面があると思うがどうか

消防長 福祉部と情報共有しながら、可能な限り連携する

浦崎 医療的ケア児の命を守っていくため頑張っている。

た。今後避難マニュアル作成についても取り組んでいく。

浦崎 避難所利用の課題は。

福祉部長 特に苦情はなく、利用された世帯から安心して過ごすことができた。今後登録者の拡大等に努める。

浦崎 避難時、緊急時、災害時、消防が非常に活躍する。医療的ケア児も消防が対応する局面があると思うがどうか。

消防長 福祉部と情報共有し

ながら、可能な限り連携する。
浦崎 医療的ケア児の命を守っていくため頑張っている。



医療的ケア児受入れ体制充実が望まれる



金城 幸盛 議員



学校給食費の保護者負担の軽減について

私ども公明党会派が市長に要請した物価高から市民生活を守る緊急要望第3回の要望内容について本市の緊急対策にどのように反映したか伺う。

教育指導監 令和5年5月、

国の臨時交付金3902万7000円を活用し、生活者支援を目的に資源価格の高騰に

対応するため食料費の差額の負担軽減対策を図っている。さらに、追加対策として本議会で提案した公費より負担する補正予算について、先日議会にて御承認頂いたところである。内容については、昨今のエネルギーや食料品価格等の物価高騰対策とし、コロナ臨時交付金



物価高対策として4か月給食費無償化

1億101万3000円を活用し、令和5年12月から令和6年3月までの4か月間、子育て世帯の負担を軽減するため、小中学校の給食費無償化を実施する。

幸盛 令和6年4月以降の学校給食費の無償化について本市の対応を伺う。

教育指導監 沖縄県市長会で
要請決議をし、沖縄県に手交
しており、さらに沖縄県にお

いても国へ要請しているので進展を見ながら対応していきたいと考えている。また、本市独自の学校給食無償化は多額の予算の確保が必要となるので関係部署と調整の上、検討させていただく。

幸盛 ぜひとも今後も国、県の動向を注視しながら物価高対策に取り組んで頂くよう強く要望したいと思います。

セカンドブックについて



大城 むつみ 議員



進捗状況を伺う。

教育長 乳児期に一度配布しただけでは成長の過程で絵本から離れてしまう可能性があり、それを防ぐためにフォロアアップ事業として、セカンドブック事業の検討を進めている。今年度は事業準備委員会を立ち上げており、1歳半健診、3歳児健診会場において絵本の読み聞かせの実践を行った。そこでの知見に基づき、第2回準備委員会にてセカンドブック事業の対象年齢、対象絵本等を選定している。

大城 教育部長 どのように行う予定か
乳幼児健診に合わせ
て行う予定である。令和5
年度でいうと、生後3か月か



セカンドブックの予算化を
(写真1はブックスタートの本)

ら5か月児健診が年10回、日曜日の実施、1歳半健診が年21回、平日の実施となっている。

大城 平日実施になると、推進員増員の必要がないか。

教育部長 セカンドブックに限らず、ブックスタート事業も含めて推進員の確保が課題となっている。今後も養成講座などを開催し、人材の確保に努めていきたい。

大城 絵本で親子のコミュニケーションツールとして絆を

深める上でも、早めに予算化し進めてほしいが、市長の見解を伺う。

市長 まずは、準備委員会の意見を踏まえて協議をしていきたいと考えている。

大城 期待してよいか。

市長 しつかり議論をさせていただきたいというふうに向きに考えたいと思う。

被害について伺う。

台風6号による長期にわたる停電について



伊敷 郁子 議員



企画部長

企画部長 主にアパートなど集合住宅において高架水槽内へ給水するためのポンプが稼働できないことによる断水被害が寄せられたことから、市役所1階の水場を開放し、生活用水が必要な世帯が自由に水を取得できる場所を確保するとともに、ペットボトルの飲料水を自由に持ち帰れるように対応した。沖縄電力からの情報によると、総勢1800人の最大要員体制で早期復旧を目指し、昼夜継続して復旧作業を行っていたとのことだが、最大停電戸数が21万5800戸に上るとともに、沖縄本島地方を合計で約70時間暴風域に巻き込んだこ

とが要因と思われる。

伊敷市役所にも農村環境改善センターにもシャワーの設置は必要だと思うがどう考えているか。

企画部長
市役所にはシャ

ワーがある部屋もあるので、活用は可能かと思っている。改善センター、ほかの公共施設、民間施設などについても今後関係機関等とあるいは地域と相談しながら検討していきたいと思う。

伊敷
スイミングスクールや

公共施設には市のプールもあるので、そういうところを利用できるようにしたいと思うがどうか。

企画部長 民間のプールや体育施設等を想定している。

伊敷 ぜひ民間施設が利用でき
るよう進めていたきたい。

台風6号襲来時の市内



県道7号線の冠水問題について



西平 賀雄 議員



3月定例会で経緯を確認すると答弁している。確認し、県と調整したか伺う。

経済部長
平成11年度に座波

自治会より陳情書が提出され
ており、既存排水路管理者の
市と県道管理者の南部土木事
務所の双方で今後の対応を図
る旨の回答を行った経緯があ
る。当時関わった本市職員へ
聞き取りを行うとともに、沖
縄県南部土木事務所へも情報
を提供し、関連資料の提供を
お願いするなど過去の協議経
緯の確認作業を継続して行っ
ている状況である。冠水の要
因を当該ボックスカルバート
単体で捉えるのか、または都
市化の進展等による影響など
流域全体における総合的な対



長い間改善の求められている冠水箇所

策の検討の必要性など、意見
を交わしている。引き続き県
の協力も得ながら過去の協議
経緯を確認し、今後の対応を
図っていきたい。

西平 陳情が上がってから20

示してほしいと思うがどうか
経済部長 早急に改善ができるよう関係機関と協議を進めて取り組んでいきたい。ただし、県と関係部署もある、予算もかかる可能性も出てくるので、スケジュールに関して は早急にでも県と協議していきたいと考えている。



山城 涉 議員

大度自治会の光回線の
利用について



①利用状況を市は認識しているか。②他の地域でも光回線未対応地域があるか。

企画部長 ①8月上旬、光回

線接続事業者より大度の光回線が接続できない地域への提供開始は9月頃を順次予定しているとの連絡があった。②地域からの要望がないことから、未対応地域について大度以外の状況確認はできていない。

山城 大度のほうも少しエリ
アが拡大してきている。これ
は市の事業ではないと思うが
今後とも市の担当部局の方で
NTT、総合通信事務所と連
携を取りながらもっとエリア
拡大が図れるようにお願いし
たいと思うが、協力すること



大度地域の光回線進展へ協力が望まれる

ができるか。

企画部長
議員に行動してい

ただいて大度地区の改善につながったのは認識している。市の方にも連絡があった。光回線接続業者と大度地域の未接続エリアについて情報を共有しているところである。9月に入ってから改良されるということだったのでそれを期待して待っているところであるが、接続状況に進展が見られないということがあった場合は、市からも状況についてお伝えしていきたいと考えている。

いる。

山城 今情報化社会となっており、光回線が家庭に及ぼす影響も大きいということを聞いているので、これからも継続して協力をお願いしたいと思う。



賀数 郁美 議員

子どもの人権について



養育費を受けるための公正証書の申請、補助件数を伺う。

こども未来部長
市養育費に

関する公正証書等作成費補助金は、養育費に関する取決めを促進し、もって養育費の継続した確保を図るため養育費の取決めに係る公正証書等の作成に要した経費に対し3万円を上限に助成する補助金で、補助件数は令和4年度が1件令和5年度は8月時点で1件である。

賀数 申請件数、補助件数が少ない要因は何か。

こども未来部長 補助金に係る周知が進んでいないことが要因ではないかと考えている。

賀数 公正証書が作成できるのは夫婦間の調整が可能なま



公正証書作成サービスの拡充を提案

れなケースであり、ほとんどが極力連絡もしたくないのが実態だと思う。そんな家庭では公正証書を作成する選択肢も取れないのではないかと考える。提案だが弁護士が代行して元パートナーとの調整を進め、公正証書を作成した場合における弁護士費用について当該補助金の対象とすることは可能か。

こども未来部長 国に対して活用が可能か確認する。

賀数 ひとり親が経済苦となり子供に対して虐待を行う可能性もあり、未然に防ぐ施策が必要と感じる。このことから公正証書作成のサービス拡充が必要と考えるがどうか。

こども未来部長 当該補助金の周知を進め活用を促進するとともに補助金の拡充についても調査研究していく。

市の公共施設の活用について



平田 健人 議員



①市民が借りられる市の施設について、どれぐらいあるか。②市民のあらゆる活動をサポートすべく市の施設でレンタルできる場所をホームページでまとめてほしいが対応できるか伺う。

総務部長 ①教育機関の施設を除き、建物として借用可能な施設は96施設あり、そのうち施設目的に合った利用で市民が借りることができる施設が37施設ある。

企画部長 ②公共施設の活用
に当たり、ホームページをまとめることは技術的には可能かと思うが、施設を所管する部署との調整が必要となることから、今後の掲載の在り方について調査研究をしていく。



市の公共施設活用へ情報提供を

平田 借りられる箇所は結構あるが、知られていない状況にある。関係部署との調整が必要とのことだがどれくらいの期間が必要なのか伺う。

企画部長 単純に施設のリンクを貼る程度であればすぐできるが、そこが活用できるようになっていいるかは調べる必要があるため時間を頂きたい。

平田 いろいろなイベントを企ててみんなの笑顔が見たい。と考える人は糸満市には多い。その方に対してこんな場所を貸しているよと周知するのは市が盛り上がるきっかけにもなると思う。市民が利用して糸満市の魅力はこういうところなんだというのを市民が言えることが関係人口を増やしていくことにつながるので、ぜひ取り組んで頂きたい。

市有地の処分について



大田 守 議員



市有地（糸満1943番地37）売買契約等について、第15条の規定により、市は買戻し特約の登記を所有権移転登記と同時に嘱託することになつてゐるが、その登記がされてゐないのはなぜか伺う。

当初、登記について

特約の手續の登記を予定して
いたが、市が囑託を委任した
司法書士が登記を行った際に
所有権移転のみ登記してしま
い、市としては司法書士にや
り直すよう指示をしたが、登
記のやり直しによる二重の登
録免許税の負担が発生するこ
とから、相手側に用途の制限
や買戻し特約に関する念書を
提出させ対策を図っている。



市有地処分について課題の解明が求められる

大田 売買契約7条の買戻しの特約は市が囑託すると明記しているが実行しなかったのは市のミスか。

総務部長 7条について司法書士に委任することの協議を行い実施していることからこの件については、ミスはないものと理解している。

大田 ミスはないということだが、実際やられていない。この7条の不履行は契約違反になると思うがどうか。

総務部長 今回の司法書士の
ミスは市の委任した内容が履
行されていないものと、市は
委任した司法書士に履行の状
態の改善を求めたが、多額の
費用が発生することから対応
困難との回答があり、議員御
指摘の点も含め課題があるこ
とから、市の顧問弁護士に相
談させていただきたい。

兼城の崖崩壊箇所について



山内 竜二 議員



①兼城自治会区内崖崩落箇所についての状況。②今後の予定について伺う。

建設部長

①市道狭間線にお

を実施している。②応急工事として地域の方々と相談により、のり面崩壊を防ぐ処置をした上で、仮設信号により片側交互通行を行い、その後全面復旧に向け取り組んでいく。

山内 狭間線沿いの兼城コミュニティセンターより南側にも約150メートルの道路崩落が心配される箇所がある。対策について伺う。

企画部長 確認したところ、地滑り防止区域に指定されていることから、今後の対応としてハード対策を行う際の主



早急な対応が望まれる狭間線の崩落箇所

体となる沖縄県に対して、情報提供を行うとともに対策を促していきたいと考えている。

山内 狭間線は多くの利用者が通行止めの影響を受けている。高低差の大きい崖に位置する狭間線の崩落部分の対応は地盤の基礎部分でしっかりとした工事が必要となるため、調査確認や設計業務量が多く時間にもかかり、事業の必要経費も大きく沖縄県の補助金活用申請も課題になっているかと思う。地域からの早い復旧を望む声も多く、重要な市の課題である。現在の真摯な対応に感謝するとともに、引き続き重要な兼城崩落箇所への対応をお願いしたい。また台風6号時も市職員や各自治会、協力民間企業をはじめ、多くの関係者が災害対応で尽力されたことに感謝する。

水産振興行政について



新垣 安彦 議員



本市の水産業は主に捕る漁業を中心としていたが、今若手漁業者で養殖という育てる漁業に情熱を燃やしている方がいる。実際にカキ養殖を見せていただきすばらしい取組だと感動した。そこで何う。糸満漁協が沖縄水産高校及び琉球大学と協力して実現したカキ養殖について見解を求めらる。

市長 去る8月31日町端区公民館前において開催された沖縄県産力キのお披露目会で糸満漁協組合員や養殖に携わった方々から、力キ養殖への取組や今後の事業展開などの話を伺い、力キ養殖に対する意気込みを感じている。本市においても糸満産の力キ養殖が



養殖された糸満産力キ

展開されることにより、新たな産業や観光の起爆剤になることを期待している。

新垣 計画的に養殖するためには養殖用のいかだやボートカキを納めるための籠が多数必要になり、多額の資金が必要で、事業実施をするためにも補助金申請が必要になる。補助金申請について市として積極的に取り組むことができないか伺う。

経済部長 カキ養殖の支援策については漁業協同組合を対象とした糸満市水産業奨励補助金や国、県の補助事業も調査・研究しながら支援ができればと考えている。補助金申請手続等の支援についても、糸満漁協と協力しながら行っていく。

新垣 ぜひそれを履行するよう、よろしくお願いしたい。

經濟部長

力・養殖の支援策
は漁業協同組合を対
糸満市水産業奨励補
、県の補助事業も調
しながら支援ができ
ている。補助金申
の支援についても、
と協力しながら行っ

新垣

ぜひそれを履行するよ
よろしくお願いしたい。

○目の不自由な方に「声の広報」届けます。

目の不自由な方に糸満市議会の情報を届けるため、糸満市議会だよりをＣＤに吹き込み配布しております。

詳しくは、議会事務局議事係までお問合せください。(☎098-840-8100)

○糸満市議会のホームページで本会議の映像が視聴できます。

糸満市のホームページから糸満市議会の本会議（ライブ・録画）を視聴することができます。

詳しくは市議会のホームページに掲載されますので、御確認ください。

また、過去の会議録の検索・閲覧や全議案の賛否の一覧、議会だよりについても掲載されておりますので御利用ください。

市議会HP <http://www.city.itoman.lg.jp/life/6/20/>

糸満市議会



令和5年 第5回定例会議案等処理結果

事件番号	件 名	議決結果
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	異議なし
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃
認定第1号	令和4年度糸満市一般会計歳入歳出決算の認定について	不認定
認定第2号	令和4年度糸満市人材育成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第3号	令和4年度糸満市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
認定第4号	令和4年度糸満市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
認定第5号	令和4年度糸満漁港ふれあい公園事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
認定第6号	令和4年度糸満市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
認定第7号	令和4年度糸満市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
認定第8号	令和4年度糸満市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
議案第64号	令和4年度糸満市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
議案第65号	令和4年度糸満市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃
	議案第66号 令和5年度糸満市一般会計補正予算(第4号)に対する修正案(賀数郁美議員提案)	否 決
	議案第66号 令和5年度糸満市一般会計補正予算(第4号)に対する修正案(大田守議員提案)	可 決
議案第66号	令和5年度糸満市一般会計補正予算(第4号)	修正可決
議案第67号	令和5年度糸満市人材育成事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第68号	令和5年度糸満市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第69号	令和5年度糸満市介護保険特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第70号	令和5年度糸満漁港ふれあい公園事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第71号	令和5年度糸満市土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第72号	令和5年度糸満市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第73号	令和5年度糸満市下水道事業会計補正予算(第2号)	〃
議案第74号	令和5年度糸満市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)	〃
議案第75号	糸満市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について	〃
議案第76号	糸満市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	〃
議案第77号	糸満市火災予防条例の一部を改正する条例について	〃
議案第78号	糸満市障害者地域活動支援センター条例を廃止する条例について	〃
議案第79号	監査委員の選任について	同 意
議案第80号	糸満市農業委員会委員の任命について	〃
議案第81号	糸満市農業委員会委員の任命について	〃
議案第82号	糸満市農業委員会委員の任命について	〃

事件番号	件 名	議決結果
議案第83号	糸満市農業委員会委員の任命について	同 意
議案第84号	糸満市農業委員会委員の任命について	〃
議案第85号	糸満市農業委員会委員の任命について	〃
議案第86号	糸満市農業委員会委員の任命について	〃
議案第87号	糸満市農業委員会委員の任命について	〃
議案第88号	糸満市農業委員会委員の任命について	〃
議案第89号	糸満市農業委員会委員の任命について	〃
議案第90号	糸満市農業委員会委員の任命について	〃
議案第91号	糸満市農業委員会委員の任命について	〃
議案第92号	財産の取得について(令和5年度小中学校電子黒板整備業務)	原案可決
議案第93号	指定管理者の指定について(糸満市潮平児童クラブ)	〃
議案第94号	字の区域の変更について	〃
議案第95号	令和5年度糸満市一般会計補正予算(第5号)	〃
議員提出議案第6号	高嶺小学校移転改築事業の入札不調解明のための調査特別委員会の委員定数を変更する決議について	〃
議員提出議案第7号	燃料油価格の高騰への対処を求める意見書の提出について	〃
議員提出議案第8号	議長不信任決議について	〃
議員提出議案第9号	議長信任決議について	否 決
議員提出議案第10号	副議長不信任決議について	原案可決
議員提出議案第11号	副議長信任決議について	否 決
	令和6年度福祉施策及び予算の充実に(陳情)	採 択
	県産品の優先使用について(要請)	〃
	県産品奨励月間に伴う「地元産品奨励及び地元企業優先使用」の要請について(依頼)	〃
	地元産品奨励及び地元企業優先活用(要請)	〃
	組合新事務所建設費用に係る支援要請について	〃
	議員派遣の件	決 定
	福祉施設や教育施設で、ゲノム編集トマトの種苗を受け取らないでください学校給食でゲノム編集された食材を使用しないでください	継続審査
	「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の採択を求める陳情書	〃
	沖縄を再びいくさば(戦場)にさせないための陳情	〃
	パートナーシップ・ファミリーシップ制度に関する陳情書	〃
	健康保険証の存続を求める陳情	〃
	全国霊感商法対策弁護士連絡会の不当な声明に対する陳情	〃
	白川2号幹線雨水管整備の工事と予算執行の停止を求める陳情	〃
	糸満ハーレーアヒル取りについての陳情書	〃
	国道331号の拡幅及び歩道の整備について(陳情)	〃
	沖縄本島南部土砂採取計画の撤回を国に要請することを求める陳情	〃

令和5年第5回定例会 議案等に対する議員の賛否一覧(全会一致を除く)

※【○】:賛成 「×」:反対 「欠」:欠席 「除」:除斥 「退」:退席 「ー」:議場に不在 「議」:議長(議長は可否同数の場合を除き、表決には加わりません) 糸満市議会議員条例定数 21人
※【会派名略称】糸保:糸保改 兼城:兼城クラブ 公明:公明党 市翔:市翔クラブ 共産:日本共産党 ま市:まっすぐ市民の会 未来:未来糸満 結び:結びの会 良保:良保会 無:無会派

議案等番号	件 名	議 決 月 日	議 決 結 果	出 席 者 数	表 決 者 数	賛 成 者 数	反 対 者 数	議席	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
								兼城 大城 むつみ	未来 玉城 哲郎	市翔 山内 竜二	共産 前田 潤	共産 浦崎 暁	無 伊敷 郁子	ま市 賀数 郁美	市翔 金城 一文	兼城 長嶺 安浩	糸保 新垣 勇太	糸保 平田 健人	結び 金城 悟	兼城 金城 寛	未来 山城 渉	ま市 西平 賀雄	結び 大田 守敦	結び 金城 敏盛	良保 金城 幸盛	公明 金城 安彦	公明 新垣 敏之	良保 徳元
認定第1号	令和4年度糸満市一般会計歳入歳出決算の認定について	9月27日	不認定	21	20	9	11	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	議	×	×	×	×	×	○	○	×
	議案第66号 令和5年度糸満市一般会計補正予算（第4号）に対する修正案（賀数郁美議員提案）	9月12日	否決	21	15	2	13	×	退	×	退	退	退	○	×	×	×	×	×	議	退	○	×	×	×	×	×	×
	議案第66号 令和5年度糸満市一般会計補正予算（第4号）に対する修正案（大田守議員提案）	9月12日	可決	21	11	11	0	退	○	退	退	退	退	○	退	退	○	○	○	議	○	○	○	○	○	退	退	○
議 員 提 出 議案第7号	燃料油価格の高騰への対処を求める意見書の提出について	9月27日	原案可決	21	20	14	6	×	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	×	○
議 員 提 出 議案第8号	議長不信任決議について	9月26日	原案可決	20	19	11	8	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	○	除	○	○	○	○	○	×	議	○
議 員 提 出 議案第9号	議長信任決議について	9月26日	否決	20	19	8	11	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	除	×	×	×	×	×	○	議	×
議 員 提 出 議案第10号	副議長不信任決議について	9月26日	原案可決	20	19	11	8	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	除	○
議 員 提 出 議案第11号	副議長信任決議について	9月26日	否決	20	19	8	11	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	議	×	×	×	×	×	○	除	×